

「言葉の院外処方箋」

新渡戸稲造記念センター 長 樋野興夫

第104回

『バランス力を磨く ～「生物学と人間学」の復習 ～』

2022年4月10日(日)、水戸の常陽藝文センター藝文ホールでの講演『バランス力を磨く ～ 助さん & 格さんの現代的意義 ～』(画像1)に赴いた。『テレビドラマの「水戸黄門」でも、黄門様ご一行も関わる人々も、さまざまな困難や障害に 阻まれながら それを乗り越えて解決に至っている。困難や障害にぶつかって、乗り越えるために 自分の心を整える時、周囲のサポートと状況、思いを共有しようという「寄り添う」姿勢がいかに大切か。時代を超え 普遍的な人間関係の要であると考えます。』、これが「水戸黄門」の人物の特徴(役割・使命と現代的意義)であろうと語った。「人生の使命」の再認識ともなった。

会場からは、多数の質問が寄せられ充実した時であった。スタッフの皆様の真摯な姿には、大いに感動した。今度、水戸の常陽藝文センターで、水戸教室で講義『コロナ時代を生きる哲学 ～「生物学と人間学」の復習 ～』が企画されるようである。ただただ感服である。講演後は、筆者の本のサイン会の機会が与えられた。東京から参加された方から、水戸駅の『水戸黄門、助さん、格さんの銅像』の写真が送られてきた(画像2)。また、茨城県の筑西でのカフェの主催者の方からは、ニューモア溢れる絵葉書が送られてきた(画像3)。大いに心が慰められた。大変貴重な『水戸の旅』の1日であった。

がん哲学外来カフェ開設記念

樋野興夫氏 講演会

『バランス力を磨く』
～助さん&格さんの現代的意義～

日時

令和4年
(2022年)

4/10 日

14:00～15:30 (13:30開場)

場所

常陽藝文センター
藝文ホール(7F)

JR水戸駅より徒歩約8分

水戸中央郵便局隣り(詳細は裏面参照)

※駐車場はございませんので近隣の有料駐車場をご利用下さい。

参加方法:要事前申し込み

お申し込み締切/3月20日(日)

FAXにてお名前・連絡先・人数をお書き添えの上、お早めにお申し込み下さい。お電話でのお申し込みも可能です。定員150名で締め切りとなります。(先着順)

お問い合わせ・お申し込み

申込専用電話(9:00～11:30)事務局/藤田

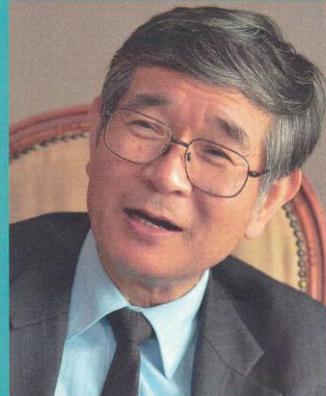
TEL090-3378-6300

FAX(9:00～18:00)

FAX029-244-3456

後援

茨城県看護協会・茨城カウンセリングセンター
株式会社茨城新聞社・常陽藝文センター
一般社団法人がん哲学外来 <http://www.gantetsugaku.org>



樋野興夫

(ひの おきお)

- ・順天堂大学名誉教授
- ・新渡戸記念中野総合病院
新渡戸稲造記念センター長
- ・恵泉女学園理事長



がん哲学外来とは?

●2008年1月、医師とがん患者の隙間を埋めるための試みとして「がん哲学外来」がスタートしました。

●地域で患者さんやご家族・がん治療経験者・医療スタッフ・ご遺族・ボランティアサポーターを交えて話し合う場が「がん哲学外来カフェ」です。

●2022年5月8日から水戸の地でも「がん哲学外来カフェ」がスタートします。開設記念として「がん哲学外来」の提唱者である樋野興夫先生の講演会を開催するはこびとなりました。



2



チューリップ

種を蒔く人になる

Becoming a person who sows seeds.

出典「日めくり 人生を変える 言葉の処方箋」10 樋野興夫 いのちのことば社

3